

風評払拭・リスク強化戦略の フォローアップについて

平成31年4月

内閣府原子力被災者生活支援チーム

風評払拭・リスコミ強化戦略のフォローアップについて

戦略における記載

1.知ってもらう

(5)被災地の不安払拭に向けた取組

①相談員等による相談対応の強化

これまでの取組①

- ◆平成29年8月24日、「平成29年度相談員等実務者会合」を環境省と共催。相談員体制の強化に向けた課題提起がなされた。
- ◆その際、武藤原子力災害現地対策本部長(経産副大臣、当時)より、現場で活動する相談員等の連携の場として「相談員合同ワークショップ」立ち上げの指示があった。
- ◆「相談員合同ワークショップ」は、平成29年12月27日に第1回を開催。平成30年度は、8月28日と3月8日に2回実施した。

【ワークショップ開催概要】

- ・構成メンバー：国、県市町村（職員、相談員）、社会福祉協議会、放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター有識者（※主催：環境省・内閣府支援チーム）
- ・議題：
 - 会議趣旨・現状説明（環境省、支援チーム、経済産業省）
 - 有識者、市町村からのプレゼン
 - ワークショップ

これまでの取組②

- ◆参加者からは、
 - ・好事例・失敗事例の情報の集積が重要。
 - ・相談員支援センターの活用方法の周知が重要。
 - ・相談員同士、地元自治体と住民、地元自治体と支援機関など、様々な形の連携が重要
 - ・保健師、放射線相談員などの専門家が、それぞれの専門性を生かしつつ対応していくことが重要などの意見が出た。

今後の取組方針

- ◆これまで実施したワークショップでの議論を踏まえ、2019年度もワークショップを開催（2回程度）し、相談員等による相談対応の強化に引き続き取り組む。



第2回の議論の様子



第3回の議論の様子